

県民協働型自然共生推進手づくり事業

「秋吉台裸地修復事業」

- ★ 日時：平成20年11月23日（日） 10:00～15:00
- ★ 場所：秋吉台自然歩道
- ★ 参加者：26人
- ★ 主催者：秋吉台パークボランティアの会

1 スケジュール

- 10:00～ 開会行事
- 10:30～11:30 歩道修復の体験
- 12:00～13:00 昼食・交流
- 13:00～14:00 スライドショーと講演
- 14:00～15:00 意見交換会

2 活動内容

雨水の通り道となり表土が流れ壊れた秋吉台自然歩道の修復体験を実施した後、秋吉台科学博物館で「秋吉台」「洞窟の世界」のスライド上映と解説、秋吉台の自然保護の歴史等の講演を聴きました。意見交換会では、秋吉台での環境学習について等、活発な意見が交わされました。

【開会行事】 会場：秋吉台展望台



主催者代表のあいさつ

【活動内容】 修復場所：秋吉台自然歩道
作業の説明



作業箇所の歩道は、雨が降ると水みちとなり土を入れ修復してもまた雨が降ると土が流れ、道が凸凹になります。そこで水が一気に流れ落ちないように段差をつけるための木を埋め、土、バラスで補修、その後ノシバを植え緑化をはかり土壌の浸食を食い止め、秋吉台にふさわしい緑の歩道にします。今回は、補修までを実施します。



つるはしで穴を掘り、木を埋めます



作業場所に赤土を運びます



赤土で木を埋めます



バラスをまきます



修復作業の終了箇所

【環境学習】会場：秋吉台科学博物館

○ スライドショーと講演

本事業の主催者団体代表の庫本さん作成のスライド「秋吉台」「洞窟の世界」を上映。これは、秋吉台の自然の移ろいや洞窟内の生きものの様子などを映像で綴られたものです。団体としては現在、2年目となるエコツアーを実施しているところです。エコツアーの目的は、秋吉台を歩きながら自然や歴史を体験的に学び、自然との共生など環境学習を深めることにあります。

○ 意見交換

- ・ 秋吉台は感受性を養われる場。自然を子ども達に味わってもらう場が必要。
- ・ エコツアーについて…内容の濃密なものが必要。
- ・ 最高のエコツアーとは、知識を与えたらよいのか。人間の肥やしになることをする必要があるので。残すべきものは文化的なもの。
- ・ 観光には見えて良かったな、ではなく心に残るものが必要。

- ・ 秋吉台で環境学習をしたら、どんなことができるのか。

→ 草原の生態系の理解と人間の関わり。

洞窟の生態系。

秋吉台は四季折々に台地が変わる。子ども、大人、老人によって感動が異なる。

自然を学ぶ。秋吉台を歩く→疲れて座る→石灰岩や花などが見える（注目する）。他にもないかと探す（自分で気づき、見つける）。朝早く来ると雲海が見える等。

他、多くの意見が交わされました。

○ エコツアーに関連して

今回、秋吉台地域エコツーリズム協会は環境省が実施している『第4回エコツーリズム大賞』の特別賞を受賞されたそうです。「これは環境保全活動を含めて認められたこと」と庫本さんがおっしゃっていました。

